

# DeltaGraph 5.4.5vaJ for Windows 修正点

## DeltaGraph 5.4.5va の修正点

バージョン 5.4.5va で修正された問題は以下のとおりです。

- 64ビットのWindows OSを搭載し、2ギガバイト以上のRAM(メモリー)を持つPC上でグラフの描画やデータの更新を行うと、クラッシュする問題が修正されました。

## DeltaGraph 5.4.5v の修正点及び新機能

- Windows Vistaに対応(Works with Windows Vista)しました。
- 「アップデートをチェック」機能が追加されました。この機能により、DeltaGraphの最新版を確認することができます。(お使いのPCがインターネットに接続されている事が必要)

バージョン 5.4.5v で修正された問題は以下のとおりです。

- 線色としてハーフトーンを使用してEPS形式でエクスポートする際に生じていた問題が、修正されました。
- 複数のデータシートを使用し作業している際、作業途中でデータが消えてしまう問題が修正されました。
- 横棒、縦棒グラフにおいてY軸の値をデフォルトの値である”0”から他の値(例:10)に変更し、OKボタンを押した後、次回再度Y軸の値を”0”に戻しOKボタンで確定すると、グラフが正しく描画されない(この場合、10以下の値領域に描画されない)問題が修正されました。
- XYベクトルグラフにおいて、X軸の最小もしくは最大値を変更すると、X軸ではなくY軸の値として反映されてしまう問題が修正されました。

### 既知の問題:

\*バージョン5.4.5vへアップグレードまたはアップデートする前に下記の問題に関してよくお読みください。

\*バージョン5.4.5で、テキストツールを使用して作成したテキストオブジェクト(グラフ自体に使用されているテキストには影響なし)で発生していた、行間隔に関する問題を解決しました。その内容に関しては以下を参照ください。

1. 以前のバージョンでは、3ピクセル分余分な行間隔が、新規で作成したテキストオブジェクトに追加されていました。この問題により、行間隔が正しく設定されないと言う問題が発生していました。例えば、デフォルトのフォントサイズ9ポイントに1行の行間隔という設定でテキスト入力した際、行送りは12ピクセルとなるはずですが、しかしながら、以前のバージョンでは行送りが15ピクセルと設定されていました。理由は、3ピクセル分余分な行間隔がデフォルトで存在した為です。
2. この余分な行間は、最初の行とそれに続く行にも追加されていました。この問題により、

全てのテキストオブジェクトの冒頭に無駄なスペースが設置されていました。

これらの問題に取り組んだ結果、2.の問題を修正することで、その修正にともない2次問題が発生しています。その2次問題とは、最初の行にある余分なスペースを取り除いたことにより、以前のバージョンで作成したテキストオブジェクトは、全て上方向に3ピクセル移動するかたちとなっています。但し、2行目以降の行にともなう余分な行間は、まだ存在します。これは手動で変更し、強制的にテキストオブジェクトを再形成する必要があります。

もし、既に以前のバージョンで作成済みのテキストオブジェクトに対して、全体的に1行の間隔に設定したい場合は、そのテキストオブジェクトを選択し、テキストメニューの書式テキストを開きオブジェクトの書式ダイアログボックスで間隔タブを選択し、行間の行送りから1行を選択した後、適用ボタンをクリックし最後にOKボタンをクリックしてください。(OKボタンをクリックする前に必ず適用ボタンを最初にクリックする事が必要です。)

上記に伴うテキスト レイアウトの処理方法を修正したことが原因で、一部バージョン5.0xや5.4で作成したファイルでは、行間隔を調整する必要があります。バージョン5.4.5でそれらのファイルを開き行間隔が変わっていることに気付いた場合は、そのテキストを選択し、[書式] メニューの [テキスト] コマンドを選択して、[間隔] タブを選択します。そして、[行送り] 設定を [指定] から [1 行] あるいは必要な値に変更します。

バージョン5.4.5以降Pantoneカラーセットが変更されました。この変更にともないPantoneカラー名はDeltaGraph形式で保存した際ファイルといっしょに維持されません。

PantoneカラーセットはDeltaGraph のMacとWindows間で正しく変換されません。

グラフに曲線のあてはめとしてXまたはY軸に対数が与えられた多項式を適用すると、曲線が正しく表示されない場合があります。その際は回避策として異なった次数を与えることにより曲線を表示してください。REDROCK社では、今後のバージョンの DeltaGraph でこの問題に取り組む予定です。

今回のバージョンでは、データ シート内の行数と列数が正しく制限されるようになりました。以前の 5.x リリースでは、グラフ エンジンが正常に処理できる数より多くのデータをデータ シートにインポートまたは追加することが可能で、これにより重大な問題が発生することもありました。REDROCK社では、この問題を解決するため、列および行の数をそれぞれ 255 列および 32,000 行に制限しました。行と列のいずれかがこの制限より多いデータ セットを使用し作成されたグラフは、バージョン 5.4 で開くときに更新する必要があります。まず、ファイルを開き、グラフを選択します。その後、[グラフ] メニューの [データの更新] を選択し、データ セットを選択し直します。

REDROCK社では、DeltaGraph 5 で作成された「曲線のあてはめ」に関する多くの問題を修正しましたが、DeltaGraph 5 に影響するいくつかの問題が未解決のまま残っています。これら

は、ユーザー定義 (カスタム) の曲線のあてはめを含む DeltaGraph 4 ファイルをインポートする際に発生する問題です。これらの問題が見られた場合は、その回避策として [曲線のあてはめ] ダイアログ ボックスを開き、[定義...] ボタンをクリックして ([曲線のあてはめの設定] ダイアログ ボックスが開きます)、[推定] ボタンをクリックします。そして、[続行] ボタンをクリックして変更を適用します。

DeltaGraph からエクスポートした WMF ファイルのラベルやテキスト領域に半角文字と全角文字の混在したテキストが含まれていると、その WMF ファイルを Illustrator にインポートしたときにそのテキストが正しく描画されないことがあります。この場合、文字間隔が小さくなりすぎたり、文字が互いに重なり合ったりします。次の 2 通りの回避策があります。

- 1) エクスポート/インポートの代わりに、コピー/貼り付けを使用する。
  - 2) すべてのラベルまたはテキスト領域で、全角文字だけ、または半角文字だけを使用する。
- Word や PictureViewer などの他のアプリケーションでグラフやテキストを表示するだけであれば、この問題がそれらのグラフやテキストに影響を及ぼすことはありません。

箇条書きテキストの初期設定を編集することはできません。に関する問題がいくつかあります。

今回のバージョンでは、OLEのリンク貼り付けに完全対応していません。DeltaGraphは他のアプリケーションへリンク貼り付けをする際にリンク元としてリンクを作成しません。現在の回避策として、他のOLEに対応しているアプリケーションへOLEオブジェクトを挿入し、それからDeltaGraphへリンク貼り付けをしてください。REDROCK社では、今後のバージョンのDeltaGraphでこの問題に取り組む予定です。

DeltaGraph 4.0xで作成したファイルが複数のシートを持って保存されていると、バージョン 5.4形式でそれを新に保存する際にクラッシュします。回避策として、バージョン 5.4でファイルを開いた際に一端シートを全て1つ1つクリックしながら選択し、保存する際は最初のシートが表示されている状態で保存してください。この操作によりクラッシュを防ぐことができます。REDROCK社では、今後のバージョンの DeltaGraphでこの問題に取り組む予定です。

高解像度のプリンタへ出力したりDistillerを経由してPDFファイルを作成したりする場合は、メモリの問題が生じることにより出力ができない場合があります。これが発生した場合は、ダイアログが表示されます。回避方法としては、ページサイズを小さくするか、解像度を落として作業してください。

EPSグラフィックを絵柄グラフとして使用することはサポートしていません。

EPSグラフィックをPowerPoint 2002へ挿入すると日本語の文字が正しく表示されません。他の形式で挿入することをお勧めします。

1ファイルに付きサポートしているデータシート数は64です。DeltaGraph 5.4.5上で新規に作成したファイルは、64シート以上作成するとエラーが発生します。また、DeltaGraph 4.0xやDeltaGraph 5.0xのこれ以上のデータシートを持つファイルを読み込む際は、ファイル内にある全てのグラフを表示できないと言う問題が発生します。

複数のキャンバスで構成されたファイルに共通の背景を作成する場合は、キャンバス1または最初のキャンバスを表示し作成してください。さもないと、背景作成画面の表示がおかしくなる場合があります。

新規作成でファイルを作成した場合は、必ず一度[ページ設定]で用紙のサイズと向きを確認し[OK]ボタンを押した後作業をしてください。この手順を行わない限り、用紙サイズが確定されません。用紙サイズを確定せずに、書式の[キャンバスのサイズ]を開くとサイズが誤って表示されます。

DG4.0xのグラフギャラリーにあるグラフ(色の設定はデフォルトのまま変更せず)をライブラリーに登録し、バージョン5.4.5でそのライブラリーファイルを読み込んでキャンバス上に配置すると、バージョン4で登録されているグラフ色とは違った色で表示されるものがあります。これはバージョン4とバージョン5ではデフォルトで設定されているカラーパレットが異なる事が原因です。同じ色見で配置したい場合は、まずバージョン4でカラーパレットを保存し、それをバージョン5で読み込んだ後作業をしてください。同様の配色が可能となります。

DG4.0xで作成したライブラリーにQC X-Rグラフが含まれていると、バージョン5.4.5でそのライブラリーファイルを読み込んでキャンバス上に配置する際、正しくグラフが描画されません。回避法として、元データをもとにグラフを再度描きなおす必要があります。

ある特定のグラフにおいては、DG4.0xで開いたものとそれをDG4.0xのライブラリーに登録し、バージョン5.4.5でそのライブラリーファイルを読み込んでキャンバス上に配置したものとは、サイズが異なるものがあります。現在この問題における解決法はありません。

バージョン5.4.5vをWindows Vistaにインストールした際、共通の背景設定時に背景色として、グラデーションを使用すると描画速度が著しく低下します。現在この問題における解決法はありません。

バージョン5.4.5vをWindows Vistaにインストールした際、共通の背景設定時に背景色として、グラデーションを使用し、スタイルとして楕円を選択すると、DeltaGraphがうまく動作しません。現在この問題における解決法はありません。

バージョン5.4.5vではExcel 2007には対応していません。

バージョン5.4.5vをWindows Vistaにインストールした際、値軸の最小値が”-0”で表示されます。(実際にグラフを表示させた際は正しく”0”で表示されます) 現在この問題における解決

法はありません。

## DeltaGraph 5.4.5 の修正点

バージョン 5.4.5 で修正された問題は以下のとおりです。

- DeltaGraph 5.0もしくは、5.01 Windows版から最新バージョンへアップデートする際、DeltaGraph側でライセンス数が正しく認識されず、購入本数以上のライセンスを使用中ですといった、警告が出てしまう問題が修正されました。
- DeltaGraph Macintosh版5.5.5以降で作成されたファイルを開いて保存することができるようになりました。
- 数式の作成ダイアログで数式を適用しても計算されない問題が修正されました。
- 複数のグラフを選択しコピー、貼り付けを行った際貼り付けが出来ない問題が修正されました。
- DeltaGraph 4.0xで作成したライブラリーファイルを開くことができるようになりました。
- Pantoneカラーダイアログが新たに搭載され、新しいPantoneカラーも加わりました。
- 全てのカラー変換時には、Microsoft社によるカラーマネージメントシステム、Imaging Color Matching 2.0が使用されています。
- EPSイメージへの出力の際Pantoneハーフトーンカラーサポートが適用されます。この機能を使用するには、オブジェクトの前景色にPantone色、背景色は白であることが必要です。前景色/背景色の設定を確認後、最後の32パターン色(カラーパレット内最後の2行)から色を選びます。パレット右方向へ行く毎に、3%づつトーンがあがります。EPSへエクスポートしたファイルは、Pantoneの色名とハーフトーン値を維持します。他の形式へエクスポートした際は、ハーフトーンの値は失われます。
- カーブフィット曲線が太い線で設定されている場合、印刷すると線がぎざぎざになる問題が解決しました。
- 行間隔における問題が解決しました。(既知の問題を参照)次のサイトでも詳しい説明をしております。<http://www.poladigital.co.jp/support/DeltaGraph/545/line.pdf>
- インポートする範囲の選択ダイアログボックス内に、[連続した区切り文字は1文字として扱う]オプションを追加しました。
- 三角グラフの軸の角度にあわせるチェックボックスが、複数軸に適用する理由から、軸ダイアログボックスよりオプションダイアログボックスへ移動しました。
- ライブラリー機能におけるマイナーな問題が解決しました。
- Macintosh版で作成された絵柄を含むグラフを開くとクラッシュする問題が解決しました。
- オーバーレイを適用したグラフを選択し記号ダイアログボックスを開くとクラッシュする問題が解決しました。
- ベクトル以外の形式(ex. JPEG、BMP)にエクスポートした際、テキストオブジェクトが移動してしまう問題を解決しました。

- データ内に空白のセルを含むと、グラフ作成がされない問題が解決しました。
- ヘッダやフッタを挿入した際、余分なページが印刷される問題が解決しました。
- 用紙の向きを縦から横または横から縦に変更した際、印刷プレビューでの表示でページ領域が指定の用紙サイズ領域外に表示されてしまう問題が解決しました。
- 記号ダイアログボックスで各記号をCtrlクリックにて複数選択した際、選択された記号が正しく描画されない問題が解決しました。
- グループ解除したオブジェクトに対して元に戻すコマンドが適用できるようになりました。
- 軸交換にチェックが入っていると軸を交換した際設定がリセットしてしまう問題が解決しました。
- 3D XYZ領域グラフにおいて、Z軸の編集ができない問題が解決しました。
- 軸ブレイクを適用した際、ブレイクが間違っていて計算され軸目盛りの値がおかしくなる問題が解決しました。この問題は、グラフを通常サイズよりも大きく表示したり、グラフ自体は正しく描画したものの、グラフを選択している選択ハンドルを、グラフ領域からはるかに超えて表示する問題の原因にもつながっています。
- 次のグラフが特殊グラフライブラリー内に追加されました。  
横棒-折れ線複合 積み重ね横棒-折れ線複合 フローティング積み重ね横棒-折れ線複合  
積み重ね縦棒-折れ線複合 フローティング積み重ね縦棒-折れ線複合  
出来高-始値-高値-安値-終値
- 円グラフに「切り離れたグラフの境界線を隠す」On/Offオプションが加わりました。
- オーバーレイと記号ダイアログボックスの使用がフローティンググラフに対しても有効になりました。
- Excelファイルとのリンク貼り付けにおける機能が改善しました。1つのDeltaGraphファイル内で複数のExcelデータのリンク貼り付けが行えるようになりました。(但し、今のところはあくまで1データシートに対して1リンク)
- DeltaGraphで作成したグラフをExcelファイルに埋め込む際の動作が改善されました。
- 立体塗りつぶしグラフにおけるZカラー軸ダイアログボックス内の項目で、一時消えてしまっていたいくつかの設定が復活しました。
- 平面グラフのオプションで「データのみを表示」オプションが復帰しました。
- 三角グラフのグリッドの表示を、オン/オフできるようになりました。
- 三角グラフ三角軸ダイアログボックスの[値]において、増加の設定(時計回り/反時計回り)が保持できるようになりました。
- 用紙の向き(縦/横)は、デルタグラフを再起動後も前回の設定を保持できるようになりました。
- 50行以上のファイルをデータシートにインポートする際生じていた問題を解決しました。
- データを置換する際に生じるいくつかの問題を解決しました。
- データシートをプリントすると列と行が1つずつ余分に印刷されてしまう問題が解決しまし

た。

- 縦にキャンバスをスクロールすると、キャンバス自体が強制的に左端に移動してしまう問題を解決しました。
- 誤差線を表示する際、追加した軸に対して誤差線が表示されない問題が解決しました。
- EPSエクスポートを行う際のTrueTypeフォントの問題が解決しました。
- 三角グラフの三角軸ダイアログボックスの[表題と軸ラベル]における問題が解決しました。
- 用紙の方向を変更した際にグラフが消えてしまう問題を解決しました。
- 強制的に再描画をしない限りキャンバス内のオブジェクトが消えてしまい描画されない問題が解決しました。
- Windows XPでDeltaGraphを使用している際ツールパレットのタイトル部分が切り取られてしまう問題が解決しました。
- ヒストグラムでカテゴリー軸 区間 区間のラベルを「端」にできない問題が解決しました。
- QCグラフのオプションダイアログボックス[プロットタイプ]で正しいタイプが選択されていなかった問題が修正されました。
- WMF形式にファイルエクスポートする際、時々クラッシュする問題が解決しました。
- データシートで隣同士以外の行を選択する際に発生していた問題が解決しました。
- データシート上にある、隣同士でない列や行の挿入や削除にともなう問題が解決しました。
- 7つ以上のカテゴリーを持つスパイダーグラフで、軸の最大値を変更するとクラッシュする問題が解決しました。
- Distillerを使用してPDFへエクスポートした際に記号が消えてしまう問題が解決しました。
- 行のデータ > シリーズ設定が保存すると失われてしまう問題が解決しました。
- キャンバス上に複数のグラフがある場合、記号ダイアログボックスが間違っただけのグラフに対して記号を変更してしまう問題が解決しました。
- 追加したY軸に誤差線を適用できない問題が解決しました。
- 軸を追加するとスケールが最初の軸にあうよう設定されるようになりました。
- オブジェクトをグループ化またはグループ解除した後に元に戻す機能が働くようになりました。
- リサイズしたグループ化オブジェクトを元に戻すを行うとクラッシュしてしまう問題が解決しました。
- 隣同士でない列を選択してグラフを作成する際または、グラフを編集する際グラフが正しく作成されない問題が解決しました。
- エクスポートすると棒グラフの棒が大きくなる問題が解決しました。

- フォントサイズを大きいサイズに設定すると、立体グラフのラベルが縮小される問題が解決しました。
- 貼り付けされたデータの行間が、値として扱われずテキストとして扱われる為正しくグラフを作成できない問題が解決しました。
- 列や行のヘッダーをクリックドラッグするとデータシートが上または左にスクロールするようになりました。
- テキストをカスタムの角度に回転するとクラッシュする問題が解決しました。
- インストール時にインストーラー内にある「Officeとの統合」コンポーネントが正しく動作していない事により、インストール作業が終了してしまう問題が解決しました。
- 移動やリサイズを行い「元に戻す」を適用した際、キャンバスの選択が失われてしまう問題が解決しました。
- ヘッダー/フッターのサイズが印刷時や印刷プレビュー時に異様に小さくなる問題が解決しました。

## DeltaGraph 5.4.1 の修正点

バージョン 5.4.1 で修正された問題は以下のとおりです。

- EPS またはWMFとしてファイルをエクスポートしたときに、弧のオブジェクトに対して元々適用していた色やパターンが無視され、全て白色で塗られてしまう問題が修正されました。
- 円グラフをコピーしたときにクラッシュしてしまう問題が修正されました。
- DeltaGraph 5.01で作成したファイルをDeltaGraph 5.4で開くときに、書類サイズがオリジナルのサイズと比べて小さく表示されてしまう問題が修正されました。
- テキストを複数行に渡って入力するときに、テキストオブジェクトの領域(高さ)が入力したテキストに対して小さく表示されてしまう為、複数行で入力したテキスト全てが表示されない問題が修正されました。
- データをシートに貼り付けたときに、シートが最終行まで自動的にスクロールしてしまう問題が修正されました。
- 既にDeltaGraphが起動している場合は、WindowsのエクスプローラからDeltaGraphの書類をマウスのダブルクリックで開いても、また新にDeltaGraphが別途起動してしまう問題が修正されました。
- DeltaGraph 4.0xで作成されたカスタムの曲線のあてはめ(カーブフィット)を含むファイルを開くときに発生していた問題が修正されました。
- 複数のキャンバスが存在するときに、キャンバス1を除いた他のキャンバスの書類サイズがおかしくなる問題が修正されました。
- 他のオブジェクトと一緒にグループ化したグラフをコピー/貼り付けすると、貼り付けされたオブジェクトは長方形の中心にXマークが入ったオブジェクトとして表示されてしまう問題が



修正されました。

- サンプルの曲線のあてはめファイルの1つ、Bglucose.dcf を使用すると曲線のあてはめが適用されない問題が修正されました。
- 中味が白色の[DeltaGraph組み込み記号]を選択するときに、2回記号を選ばないと記号が表示されない(記号箇所が空欄になる)問題が修正されました。
- [グラフメニュー]->[軸]から任意の軸を選択するときに、軸の表示が正しくアップデートされない問題から、現在選択されているグラフに対する軸ではないものが表示されてしまう問題が修正されました。
- 箇条書きテキストの機能が向上し、この機能にともなう多くのバグが修正されました。
- [表題の表示]で設定された表題の位置や回転角度が正しく表示ならびに印刷されるようになりました。
- バージョン 4.0xのファイル内に取り込まれたOLEオブジェクトはバージョン 5.4で開いたときに正しく表示されるようになりました。ただし、バージョン 5.4ではOLEのリンク貼り付けが依然正しく動作していません。弊社では、今後のバージョンの DeltaGraph でこの問題に取り組む予定です。
- DeltaGraphで作成したグラフを印刷するときに、一部のプリンタにおいて余分な白紙用紙を吐き出す問題が修正されました。
- [キャンパスのサイズ]ダイアログボックスにおいて、プリンタの用紙サイズが正しく表示されるようになりました。
- [オブジェクトの書式]->[矢印]で表示される矢印のプレビューが正しく描かれるようになりました。
- バージョン 5.0及び5.01で作成されたグラフをEPS形式でエクスポートするときに、グラフがオフセットされる問題が修正されました。
- メモリのアクセス権に関する多くの問題が修正されました。これにより、安定性が向上しました。
- 中央揃えまたは右揃えを適用したテキストをエクスポートするときに、エクスポート先のファイルからテキストが消去してしまう問題が修正されました。
- 箇条書きテキストをEPS形式でエクスポートするときに、最初の行の箇条書きテキストを除いた全ての箇条書きテキストの設定が狂ってしまい、ピュレット自体も間違ったフォントで設定されてしまう問題が修正されました。

## DeltaGraph 5.4 の修正点

このリリースに加えられた変更のほとんどは、バグ修正に関するものです。バージョン 5.4 で修正された問題は以下のとおりです。

- EPS としてエクスポートしたイメージのパターン維持能力が向上しました。デザ パターンは、EPS のエクスポートではサポートされていません。

- MRU（最近使ったファイル）のファイル名が 256 文字になったときに発生していた [ファイル] メニューの問題が修正されました。
- 一部のダイアログ ボックスで [適用] ボタンが機能しなかった問題が修正されました。
- データ シートのラベル行を削除しようとしたときに、DeltaGraph がクラッシュしなくなりました。
- 測定の定義が修正されました。これは、いくつかの小さな問題の原因となっていました。
- パターンの印刷機能が改善され、いくつかの問題が修正されました。
- 一部の有効な曲線のあてはめが機能しなかった問題が修正されました。
- 一部の曲線のあてはめで重み付けが機能しなかった問題が修正されました。
- [値の表示] を使用してグラフ上に配置したラベルがスペース制限のために予期しない場所に表示されるというバグが修正されました。
- データ シート内のテキスト データが位置合わせの設定に従うようになりました。
- 今回のリリースでは、高解像度でエクスポートしたパターンがより明瞭です。
- 面を希望通りの厚さにしにくい場合があるという立体棒グラフのオプション ダイアログ ボックスの欠陥が修正されました。
- 下のグリッド線を非表示にしたとき、グリッド線が正常に消えるようになりました。
- [凡例] ダイアログ ボックスで、基本グラフとオーバーレイ グラフの記号のサイズを調整できるようになりました。
- 日付を編集しても、その日付が短い形式に戻らなくなりました。
- 年だけの日付形式データがデータ セル内に正しく表示されるようになりました。
- 複数行にわたるグラフ ラベルの位置合わせを設定できるようになりました。
- 印刷時にオブジェクト（長方形、楕円形...）の位置が変わるという問題が修正されました。
- 2 桁の年を含む日付が 1/1/1904 に変換されていた問題が修正されました。
- システム フォントを変更しても、キャンバス上のオブジェクトのスケールには影響なくなりました。
- キャンバス内のテキストのタブ間隔が一様でなかった問題が修正されました。
- 回転したテキストをキャンバスの左端に近づけすぎるとそのテキストが消えるというバグが修正されました。
- グラフ要素（例、細い線）の選択がさらに容易になりました。
- DeltaGraph 4 のファイル内にあるタブ付きテキストが正しくインポートされるようになりました。
- DeltaGraph 4.x のファイルをバージョン 5.4 で開いたときにフォントの仕様が維持されるようになりました。
- DeltaGraph 4 のファイルをバージョン 5.4 で開いたときにファイル内のイメージが縮まなくなりました。

- DeltaGraph 4 のファイルのインポートに影響していた多くの問題が修正されました。
- エクスポート時またはズーム時にテキストの位置合わせが変わるという問題が修正されました。
- グラフにリンクされていないデータ シートを含め、データ シートを削除できなかった問題が修正されました。
- エクスポートした EPS ファイル内のテキストの品質が向上しました。
- EPS にエクスポートするときの回転したテキストに関する問題が修正されました。
- スタイル付きテキストのエクスポート問題が修正されました。
- 数式エディタを使って作成したオブジェクトをズームするときの問題が修正されました。
- EPS にエクスポートしたグラフを MS Word にインポートするとグラフが「切り取られる」という問題が修正されました。
- メモリ不足の警告メッセージが不適切に表示されていた問題が修正されました。
- DeltaGraph 4 の場合と同様に、キャンバスの背景をすぐに設定できるようになりました。
- 特定の状況で最終列のデータを編集できなかった問題が修正されました。
- テキスト ボックスのサイズを不正に設定できていた問題が修正されました。
- 数式エディタのオブジェクトがサイズ変更後やズーム後も編集できるようになりました。
- 負のデータがあるときに縦棒グラフを正しく描画できるようになりました。
- 組み込まれている記号がときどき印刷されないというバグが修正されました。
- イメージが間違った解像度でクリップボードにコピーされていた問題が修正されました。
- 行/列の多いファイルをインポートすること、または開くことに関連するいくつかの問題が修正されました。
- 記号が行の中央に配置されなかった問題が修正されました。
- 立体グラフの [軸の値] ダイアログ ボックスで X 軸と Y 軸の値が逆になっていた問題が修正されました。
- [軸] ダイアログ ボックスで区間タブがときどき使用できなくなるというバグが修正されました。
- キャンバスをズームしたときに表示を正しくスクロールできるようになりました。
- プリンタのページ サイズとキャンバス サイズが正しく表示されるようになりました。
- DeltaGraph からコピーして他のアプリケーションに貼り付けたイメージが切り取られなくなりました。
- 一部の曲線のあてはめを読み込むときに DeltaGraph がクラッシュしていた問題が修正されました。
- テキスト オブジェクト内でテキストの色を設定すると以前に適用した他のスタイルが削除されるというバグが修正されました。
- DeltaGraph の安定性と有用性を向上するために、他の多くの点が改善されました。

## その他の変更:

バージョン 5.4 には、新機能も導入されました。

Windows XPへ正式対応しました。

グラフ キャンバスでテキスト ツールを使用して作成したテキストに、上付き文字と下付き文字を追加できるようになりました。テキスト オブジェクト内のテキストを上付き文字または下付き文字にするには、そのテキストをハイライトし、[書式] メニューの [テキスト...] を選択するだけです。[テキスト] タブには、上付き文字と下付き文字用のチェックボックスがあります。該当するチェックボックスをオンにし、[OK] ボタンをクリックします。

今回のリリースには、新しいサンプル ファイルが含まれています。これらのファイルは、DeltaGraph で作成可能なグラフの例を示したもので、スタイルに関するヒントを提供します。

## DeltaGraph 5.0.1 の新機能

- アイテムを右クリックすると、そのアイテムが選択され、右クリック メニューが表示されるようになりました。
- [誤差線] ダイアログ ボックスで、前回使用した横線の長さが正しく記憶されるようになりました。
- グラフ ギャラリーの [すべて] チェックボックスをオフにすると、他のすべてのチェックボックスがオフになり、目的のセクションにすばやくアクセスできるようになりました。
- Windows 98 で特定のファイルの開く速度が非常に遅いというバグが修正されました。
- 特定のシステムでプログラムが起動しなかった問題が修正されました。
- テキスト ボックスに入力した 4 行以上の日本語テキストが正しく表示されなかった問題が修正されました。
- 起動時に DLL に関するプリンタ関連メッセージを支援する変更が初期化に加えられました。
- 多項式による曲線あてはめで、明瞭性の改善に関連した二次的な適合度を表すために出力が変更されました。
- 誤差線が表示されたり隠れたりした問題が修正されました。
- DG4 から誤差線を正しくインポートできなかった問題が修正されました。
- DG4 ファイルを DG5 ファイルに変換することはできるが、その後 DG5 ファイルを読み込めなかった問題が修正されました。
- 立体散布図のカスタム記号オプションはサポートされていないため、使用できなくなりました。
- 特定の状況でグラフ ギャラリーを開くとデータの選択が解除されていた問題が修正されました。

- セキュリティ上の抜け穴を閉じるため、インストール後にライセンス コードの入力を求めるオプションは削除されました。
- 特定の状況では散布図を作成できませんでした。このバージョンでは、この問題の発生率が低くなり、問題が発生した場合に表示されるエラーも改善されました。
- 数式の作成で、[計算] ボタンをクリックしたときにデータ ウィンドウをスクロールできなくなりました。ただし、列選択ボタンを使用しているときにはウィンドウをスクロールできます。
- 「プリンタのページ」が基本ページ サイズとして選択されている場合は、プリンタのページを変更すると、キャンパスのサイズが更新されます。
- 上付き文字と下付き文字の高さが 3.4 センチ (1.3 インチ) 程度またはそれ以上になると、それらの文字が正しく描画されなかった問題が修正されました。
- テキストが正しいサイズで印刷されるようになりました。
- EPS へのエクスポート中に間違った文書のパレットを使用できなくなりました。
- 標準以外の線幅を正しく印刷または印刷プレビューできるようになりました。
- [ページ設定] ダイアログ ボックスの用紙設定が正しく保存されるようになりました。
- 軸目盛のラベルに埋め込まれた下付き文字が正しく機能するようになりました。
- 通貨テキスト形式のデータに対して小数点以下の桁数を設定できるようになりました。
- 「グラフ データが不良か、または壊れています。グラフを作成し直す必要があります」という旨のメッセージを表示していたエラーが修正されました。今後、このメッセージは表示されません。
- [曲線のあてはめ] ダイアログ ボックスから、数式を選択してコピーできるようになりました。キャンパスに貼り付けると、その数式のテキスト ボックスが作成されます。
- 線幅の「なし」設定が印刷機能で正しくサポートされるようになりました。
- 線形の曲線あてはめ式で、原点の通過が強要されなくなりました。
- 散布図からオーバーレイを正しく作成できるようになりました。
- 多項式の曲線あてはめ式が改正されました。
- 多項式による曲線のあてはめで [原点を通す] オプションを有効にしたとき、正しい結果が得られるようになりました。
- スプライン曲線のあてはめでは、方向の情報が無視されます。そのため、方向は設定できなくなりました。
- 直線  $y=f(x)$  が垂直線上で完全にデータ セットにあてはまる場合の警告が改善されました。
- 曲線のあてはめが数式の方向に正しく一致するようになりました。
- 曲線のあてはめで原点通過を強要したときの  $R^2$  乗値が正しくなりました。
- XYZ 等高線グラフを作成できなかった問題が修正されました。
- 線種が EPS に正しくエクスポートされるようになりました。
- どのような場合でもダブルクリックで [軸] ダイアログ ボックスが表示されるようになりました。

た。

- 日本語 OS で [値の表示] を使用したときに円記号が追加されなくなりました。
- 句読点の用法が英語とは異なるロケール（デンマーク語など）の EPS ファイルを正しくエクスポートできるようになりました。

## DeltaGraph 5.0 の新機能

- DeltaGraph 5.0 for Windows のインターフェイスが一新され、より直感的で使いやすくなりました。
- 他のアプリケーションに埋め込まれた DeltaGraph グラフを適切に編集できるようになりました（アプリケーションが ActiveX コンテナをサポートしている必要があります）。
- データ グリッドで、直接セルの書式を設定できるようになりました。また、Excel セルとのリンク機能も強化されました。
- データ ワークシートとグラフ キャンバスの両方で印刷プレビューを実行できるようになりました。
- 新しい文書マネージャでは、ドラッグアンドドロップ操作を使って、開いている文書のすべての面を一箇所で管理したり表示したりできます。
- ライブラリ ウィンドウが、グラフ用と絵柄用の 2 つの表示パネルを含む装着可能ウィンドウに改善されました。
- 新しいグラフ ウィザードでは、目的のグラフを簡単に見つけられるほか、グラフを作成する前にそのグラフと軸の表題を割り当てられます。
- さらに広範囲のグラフィック ファイルをインポートおよびエクスポートできるようになりました。また、さまざまな種類のイメージに対し、画質や利用可能なオプションが大幅に向上しました。
- SPSS for Windows や Excel 2000 を始め、多くの新しいデータ形式がサポートされるようになりました。
- 新しい Microsoft Office アドインによって、Office アプリケーション（Office 97 以降）内に新しい DeltaGraph ツールバーやメニュー アイテムが作成されるようになりました。これにより、埋め込み型の DeltaGraph グラフを直接 Microsoft Office 内に作成できます。
- 自動 URL 検出。キャンバスのテキスト ボックスで 11 種類の URL MIME タイプ（http、mailto、ftp、https、wais、gopher、file、nntp、telnet、news、prospero）を自動検出できるようになりました。まず、URL をテキスト ボックスに入力するか、または貼り付けます。次に、その URL をクリックしてブラウザ（またはその MIME タイプのデフォルトのアプリケーション ハンドラ）を起動し、その場所にアクセスします。これは、アクティブなテキスト ボックスとアクティブでないテキスト ボックスの両方で機能します。

上記のリソースで解決できない問題については、電子メールかお電話で日本国内販売店である日本ポラデジタル株式会社(下記詳細)のテクニカルサポートにお問い合わせください。電子メールでお問い合わせいただく場合、ご利用になっているDeltaGraphのバージョン、オペレーティングシステム、および問題の内容をご記入ください。これにより、迅速に対応することができます。

日本ポラデジタル株式会社 HP: <http://www.poladigital.co.jp>

電子メール: [jpdusersupport@poladigital.co.jp](mailto:jpdusersupport@poladigital.co.jp)

電話: (03)-6801-2333

サポート時間: **午前9:30 ~ 午後5:00まで**

日本ポラデジタル株式会社

113-0034

東京都文京区湯島2丁目16-10 MASSビル

代表: (03)6801-2331

RedRock Software, Inc.

10 West Broadway, Suite #850

Salt Lake City, UT 84101

(801) 322-4322